

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公開番号】特開2017-225466(P2017-225466A)

【公開日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-195526(P2017-195526)

【国際特許分類】

A 2 3 D 7/00 (2006.01)

A 2 3 D 7/02 (2006.01)

A 2 3 D 9/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 D 7/00 5 0 4

A 2 3 D 7/02 5 0 0

A 2 3 D 9/00 5 0 2

A 2 3 D 9/00 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可塑性油脂組成物中の油脂に占める、MMMの含有量が0.01質量%以上5質量%未満である可塑性油脂組成物であって、前記油脂が、16~50質量%のL2X油脂と、10~65質量%のラウリンTAG油脂および/または5~50質量%の乳由来油脂と、を含む、前記可塑性油脂組成物。

ただし、M、L、X、MMM、L2X油脂およびラウリンTAG油脂は、以下を意味する。

M：炭素数6~10の脂肪酸

L：炭素数16~24の飽和脂肪酸

X：炭素数16~24の不飽和脂肪酸

MMM：グリセロール1分子に3分子のMが結合したトリアシルグリセロール

L2X油脂：40質量%以上の、グリセロール1分子に2分子のLと1分子のXが結合したトリアシルグリセロール(L2X)、を含有する油脂

ラウリンTAG油脂：40質量%以上の、構成脂肪酸として少なくとも1分子のラウリン酸を含むトリアシルグリセロール(ラウリンTAG)、を含有する油脂

【請求項2】

前記油脂に占める、L2MおよびLM2の合計含有量が0.01~10質量%である、請求項1に記載の可塑性油脂組成物。

ただし、L2MおよびLM2は、以下を意味する。

L2M：グリセロール1分子に2分子のLと1分子のMが結合したトリアシルグリセロール

LM2：グリセロール1分子に1分子のLと2分子のMが結合したトリアシルグリセロール

【請求項3】

前記油脂に占める、前記L M 2 の含有量に対する前記L 2 Mの含有量の質量比（L 2 M / L M 2 ）が、0 . 0 5 ~ 4 . 5 である、請求項2に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項4】

前記油脂に占める、ラウリン酸含有トリアシルグリセロール（ラウリンTAG）の含有量が6 ~ 54質量%である、請求項1 ~ 3の何れか1項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項5】

前記油脂に占める、L 2 Xの含有量が8 ~ 40質量%である、請求項1 ~ 4の何れか1項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項6】

前記油脂に占める、L X 2 およびX X Xの合計含有量が10 ~ 70質量%である、請求項1 ~ 5の何れか1項に記載の可塑性油脂組成物。

ただし、L X 2 およびX X Xは、以下を意味する。

L X 2 : グリセロール1分子に1分子のLと2分子のXが結合したトリアシルグリセロール

X X X : グリセロール1分子に3分子のXが結合したトリアシルグリセロール

【請求項7】

2 ~ 70質量%のM M Mと、20 ~ 98質量%のL 2 MおよびL M 2と、を含む可塑性油脂組成物用の添加剤を、油脂中に0 . 0 5 ~ 1 5質量%含む、請求項1 ~ 6の何れか1項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項8】

2 ~ 70質量%のM M Mと、20 ~ 98質量%のL 2 MおよびL M 2と、を含む可塑性油脂組成物用の添加剤を、油脂中に0 . 0 5 ~ 1 5質量%に使用する、請求項1 ~ 6の何れか1項に記載の可塑性油脂組成物の製造方法。